

初夏の日差しの中で



- CONTENTS
- 環境月間
- 図書館15周年
- HOT話題
- 出会いふれあい

九頭竜川弁天緑地公園



歴史の散歩道

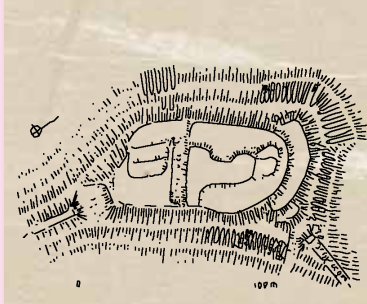
(66)

保田(西光寺)城

保田城は戦国時代、保田に本拠を持ち、朝倉氏の家臣となった嶋田氏によって築かれたという。この山城は標高二二五メートルの平坦な尾根上に築かれ、主郭(三〇×一五メートル)と、もう一つの郭(二〇×一五メートル)があり、尾根上に三つの堀切りがある。なお、主郭の西と東下の斜面には五、四、三条の畝状空堀(堅堀群)が下から登って来る敵を妨げる。青木豊昭氏(朝倉氏遺跡資料館館長)によると、この畝状空堀群は戦国時代後半に普及したものとされ、堀切りと共に朝倉系山城に見られる特徴であるという。

この保田城は、勝山盆地東部に支配していた平泉寺を牽制するために築かれたものと考えられている。城の東側麓には、北西保を経て峠越えで福井市血谷町(旧美山町)にいたる「安波賀街道」と呼ばれる古道があり、一乗谷に通じる近道と地元の人々は言う。したがって、保田城は平泉寺に対する朝倉氏の最先端基地として、安波賀街道と鹿谷の入り口にらみを利かせる重要な役目を果たす山城であったようである。

また、地元の伝承によれば、朝倉景鏡が拠点としたとも伝えるが、「越前国城跡考」では不明とする。嶋田氏が拠ったことはいうまでもないが、この



上図は青木豊昭氏による保田城跡主要部縄張図

伝承が生じた理由は、嶋田氏が大野郡司であった朝倉景鏡の支配下にあったからかも知れない。

嶋田氏は、嶋田家系図「賢勝寺文書」によれば、平泉寺坊院の一つ正学院住職であった恵秀律師(楠正成の甥)が、後に「保田邑反歩嶋田」に閑居したといひ、嶋田を名乗った。その孫正保は朝倉氏に仕え、文亀・永正(一五〇一〜一一)の加能越三州合戦で軍功をたて、北袋に千五百貫の地行を宛行われ、堀名壇之城に移り住んだという。正保の孫嶋田将監正房も朝倉義景に仕えたが、義景がその一族の逆臣景鏡に滅ぼされると、一向一揆方に与し、北袋・七山家の本願寺門徒たちを率いて、天正二年(一五七四)村岡山城を拠点として、景鏡が軍奉行として身を置く平泉寺と戦ってこれを焼亡させている。

勝山市文化財保護委員 増田公輔

編集後記

▶木々や田んぼの苗の緑が映え、吹き渡る風も涼しく過ごしやすい時期ですが、しばらくすると梅雨入りの季節を迎えます。湿気や災害、腰痛などの持病対策は、今から少しずつ準備が必要です。食中毒などにも十分に注意し、梅雨を好意的に受け止め、快適に過ごしたいものです▶6月広報と同時に、『暮らしのガイドブックかつやま』を発行しました。この冊子は、市民のために行われる事業や制度などを簡単に紹介する手引書です。身近に置いて暮らしの様々な場面でご利用いただければと思います。また、これに対するご意見やご要望もお待ちしています。

火災発生
☎88-5100(テープ吹き込み)

休日・祝日在宅当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

6/11(日)	武藤 外科 医院	☎88-0266
6/18(日)	石川 医 院	☎89-1008
6/25(日)	木下 医 院	☎87-3333
7/2(日)	河北小児科 医院	☎88-1234
7/9(日)	芳野 医 院	☎88-2005
7/16(日)	福井社会保険 病院	☎88-0350

☎ 消防署 (☎88-0400)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成18年5月末	前年比
総件数	248件	36
人身事故(うち高齢者)	46件(9)	13(3)
死者(うち高齢者)	0人(0)	-2(-1)
傷者	58人	10
物損事故	202件	23

6月の納税

市県民税▶1期(全期)
納期限▶6月30日(金)
口座振替▶6月26日(月)

人口の動き

	4月末現在	自然動態		社会動態		5月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,228人	9	-12	33	-26	13,232人	4人
女	14,528人	8	-14	26	-35	14,513人	-15人
合計	27,756人	17	-26	59	-61	27,745人	-11人
世帯数	8,135世帯					8,150世帯	15世帯

毎月第3日曜日は **家庭の日** 社会のきまりをまもり 明るいまちやむらをつくろう

